

## 在宅医療・介護連携の推進

### 1 函館市医療・介護連携推進協議会の設置について

昨年4月に医療・介護の関係団体で構成する標記協議会を設置し、本年2月まで4回の会議を開催した。平成30年4月までに在宅医療・介護サービスの情報共有による相談体制の構築や在宅医療・介護サービス提供体制の構築に向けた協議を進める。

(協議会構成団体)

函館市医師会、函館歯科医師会、函館薬剤師会、北海道看護協会道南南支部、道南在宅ケア研究会、函館地域医療連携実務者協議会、北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部、函館市居宅介護支援事業所連絡協議会、函館市地域包括支援センター連絡協議会、函館市訪問リハビリテーション連絡協議会、道南訪問看護ステーション連絡協議会、道南地区老人福祉施設協議会および市で構成。

### 2 今までの協議検討内容の概要

#### (1) 医療・介護連携に関わる課題整理

地域の介護事業所に対して、医療・介護連携に関わるアンケート調査を実施し、今後の協議検討に向けた課題整理を行った。

#### (2) 地域の医療・介護の資源把握

地域の在宅医療・介護資源を把握し、昨年11月末には市のホームページ上でそのリストを公表した。なお、リスト化した在宅医療・介護資源のマップ化にも取り組む予定。

#### (3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

市民や地域の医療・介護関係者の相談対応や調整を行う相談支援窓口（函館市医療・介護連携支援センター）の設置に向けた協議を進めてきた。その運営は、函館市医師会に担っていただくことで協議会の賛同を得たところであり、平成29年度の開設に向け、平成28年度から準備行為を開始する予定。

#### (4) 医療・介護関係者の情報共有の支援

医療・介護の関係者間において、速やかに情報共有し、市民の在宅療養生活を円滑に進めることができるよう、情報共有シート等の書式の標準化に向けた調査検討に着手。

#### (5) 医療・介護関係者の研修

医療・介護連携に関わる多職種を対象とした研修を実施（平成28年2月20日に第1回の研修会を開催）し、併せて今後の研修のあり方についても実務者レベルでの協議を進める。